

湘南藤沢学会「研究助成基金」成果報告書

International Bile Acid Meeting 学会発表／研究交流

政策メディア研究科 修士1年 田岡広樹

1. 活動日程・会場

日程：2016年6月17日（金）～18日（土）

会場：Hilton Dusseldorf, Germany

2. 活動目的

2016/6/17(金)～18(土)、ドイツのデュッセルドルフで行われる国際学会「International Bile Acid Meeting : Bile Acids in Health and Disease」で自身の研究成果を発表し、海外の一流研究者と研究交流を行う。本学会での発表を通して、今後の研究活動を有意義なものとするを目的とする。

3. 発表内容

「BAs regulate host weight gain and metabolism through gut microbiota modification」というタイトルで自身の研究内容をポスター発表した。

胆汁酸は腸管にて脂質吸収を担う分子として知られているが、近年の研究から胆汁酸は「生体内シグナル伝達分子」として体内の代謝調節を行う働きがあり、肥満や糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症の有無に関与していることが明らかとなっている。近年、腸内細菌-胆汁酸組成経路が様々な疾患発症に重要であることを示唆する論文が一流誌に報告されているが、十分な検討がなされているとは言えないのが現状である。

そこで我々は肥満発症に差異が見られる2系統のマウスに胆汁酸付加試験を行うことで、腸内細菌-胆汁酸組成経路による胆汁酸応答性が肥満発症の有無に大きく影響することを本研究で見出した。本研究によって、生活習慣病誘発に関する個別的根本的な因子が抽出され、新たな個別化予防・治療へのアプローチを提唱できると考えられる。

4. 活動の成果

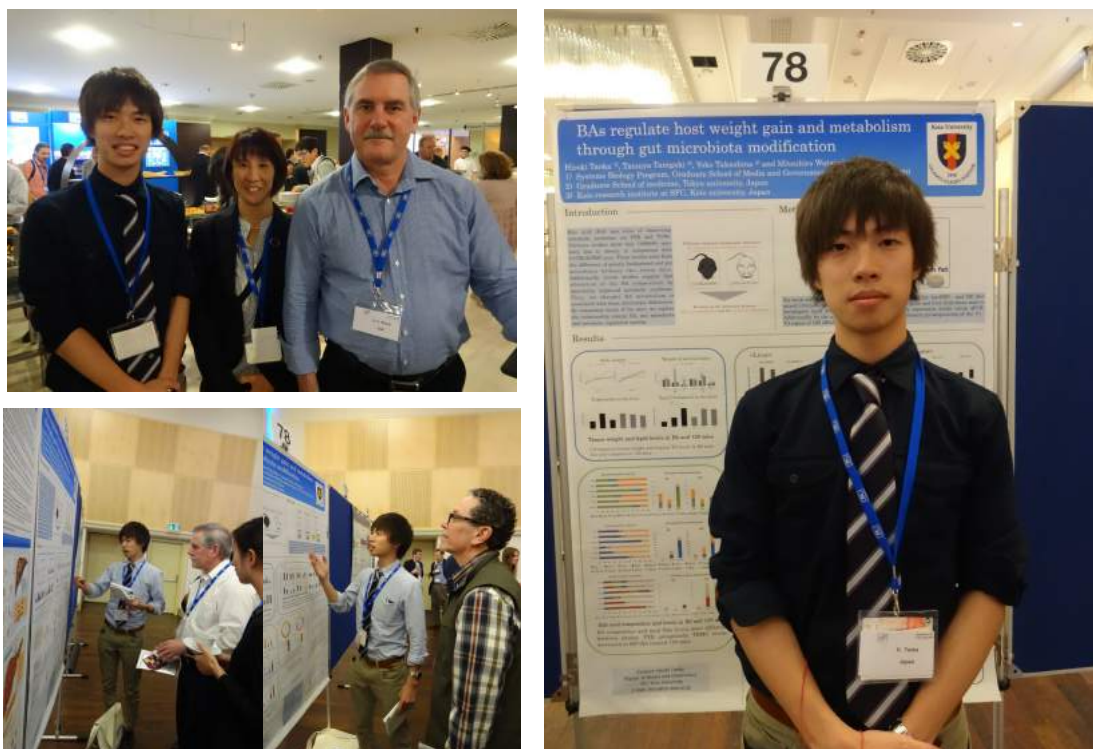
同じ分野の研究者から、研究に関するフィードバックを得ることができただけでなく、今後研究を進めていくにあたって、有益な情報を得ることができたので、得られた知見を今後の研究に反映させることが可能となった。胆汁酸分野における本研究の重要性を実感したため、研

究意欲の向上を図ることができた。また、英語を用いた実践的な発表を通して、英語でのプレゼンスキルも向上した。

本学会での最大の成果は海外とのネットワーク形成を多少なりとも形成できたことにあると思う。発表を通して海外の権威のある研究者との交流や記念撮影などを行った。さらに、懇親会などでは同年代の海外の研究者とお話を通して仲良くなることもできた。今回の学会を通して海外の研究者達とつながりができたことは今後の研究を行っていくうえで非常にプラスに働くであろうと強く思う。

5. 今後の発展

今回発表したテーマは学術論文掲載に向けて、現在論文を執筆している段階にある。交流を通して今回得られた知見をディスカッションに反映させたり、追加試験を行ったりすることで、現在執筆している内容の質を向上させつつ、早い時期での論文投稿を目指したい。さらに今回得られた海外とのネットワークを大切に、将来的に共同研究を行うことで今後の研究を加速させていきたい。



写真：学会での発表、交流の様子